

花火打ち上げはあります。が、無観客でやります 見たい人、がまんしてください。来ないでください インターネット(YouTube)で映像のライブ配信をします

コロナ感染の新たな広がりによって深刻な状況になっている中、花火打ち上げは中止にしてほしいという意見が出て、30日の例会で協議した結果は、先にお伝えした通りです。「花火打ち上げは良いが十二分に気を付ける」という意見がほぼ全員の意見。「8/1事務局短信」より

その後、下記の「要望書」が矢臼別平和委員会宛に届きました。(原文のまま)

8月8日花火打ち上げに関する要望書

「小さな政府」「働き方改革」美辞麗句に彩られた「新自由主義」のもたらしたものは、野放しの競争による労働者の権利の剥奪、社会福祉の縮小、大資本による巨大乱開発、異状な軍備の拡大と自然環境の破壊でした。

新型コロナウイルスのパンデミックは、この自然環境の破壊と密接に連なっていることが明らかになっています。日本では現在連日1500名を超える新規感染者が増え続けております。

日本政府が行っている政策は「Go To トラベル」に顕著なように「経済活動」との両立というほとんど野放しと代わらない政策です。このままではコロナの蔓延はすぐ身近に迫っている恐怖といっても過言ではありません。

第56回盆おどりが中止となり、それに代わるものとしての花火の打ち上げを決めた慰霊と平和の行動は、その段階では正しい選択でありましたが、コロナ第2派が襲いかかっている今では見直しが必要なのではないでしょうか？

矢臼別に住む私共としては、この地が恐怖にさらされることのない安全で平和な地であり続けてほしいという願いでいっぱいです。

この視点から次のことを要望いたします。

○8月8日の花火打ち上げを断念していただきたい。

その旨 関係組織に伝えていただきたい。

以上の1点を要望いたします。

2020年8月2日 矢臼別住人

浦 舟三郎 倉谷あみ 二部 黎

これに対し、事務局(株)から例会での協議状況や感染防止には万全を尽くすなどお話ししましたが、了解を得られませんでした。2日は原爆展の撤去作業があり、そこに来られた会員の方と相談した結果、最終的には「住人の方がそのようにおっしゃるのであれば…」ということで平和委として「中止の要請」を総実行委古川事務局長にお伝えしました。

ただ、論議の中では、花火打ち上げは単なる楽しみとかではなく、平和のたたかひのひとつであり、ぜひやってという要望も多い。花火を打ち上げるだけで感染はしない。野外の広場だし考えられるだけの予防策をとると言っているがそれでもだめなのだろうか、そうであれば何もできなくなるのではないかなど意見や疑問が多数出されました。

4日夜、総実行委員会が開かれ時間をかけて論議がされました。もちろん住人の方の不安は理解し尊重するが、全国の要望やたたかひの必要性に応える必要があるということ、無観客で感染予防の万全の体制をとって実施することを最終結論としました。